

「運転支援技術について安全上留意すべき事項の確認」

運転支援技術は、自動車の運転操作をシステムが支援することにより、事故の回避・軽減やドライバーの運転負担軽減を図り、安全性の向上をめざすものですが、運転支援がドライバーの意思に沿ったものであるべきこと等、運転支援技術が実用化されるにあたり安全上留意されるべき事項について、ASV推進計画^{注1)}によって「運転支援の考え方」がまとめられています。(別紙)

国土交通省では、今後、運転支援技術が実用化される際には、自動車メーカーに対して、当該運転支援技術が「運転支援の考え方」の各項目を満たしているかどうかの技術的な説明を求めることにより、安全上留意すべき事項について確認を行うこととします。

また、この確認の円滑化を図るため、必要に応じ、技術指針^{注2)}を策定又は改定し、公表することとします。

注1) ASV推進計画：先進技術の活用により安全性能を高めた先進安全自動車(ASV)の開発・普及を促進するため、産・学・官の協力の下、国土交通省が推進する計画。

注2) 技術指針：自動車の構造・装置に用いられる新技術について、安全上新たに何らかの技術的な要件が必要と考えられ、かつ、早急に法令上の要件として定めようとする、発展途上にある技術の多様性、設計の自由度を制約し、技術開発の進展を阻害するおそれがある場合に、ガイドラインとして作成しているもの。運転支援技術についても、これを活用することにより、同種の技術についての安全上留意すべき事項の確認の透明化と効率化が図られるとともに、より良い運転支援技術の開発・導入を促進する効果が期待されます。